

おいしいものを食べて、飲んで、福祉を知る。 噂のお店に行ってみよう

Let's go to a restaurant that's rumored to be the place to be.

カフェやベーカリー、キッチンカーなど、実はこうしたお店に福祉が携わっていることも近年増えてきました。ここでは2022年にオープンした噂のお店をご紹介します!気軽に訪れて、新たな福祉の魅力をのぞいてみよう。



1. 弾力のある手づくり抹茶ゼリーがゴロゴロ入った抹茶ミルクゼリー 400円(税込)は、ベトナムでも愛されているドリンクの一つ 2. 見た目も可愛い生春巻きは2種類から選ぶことができます。添付のソースはピーナツバターのような甘みを感じるオリジナル豆ソース。3. この日のキッチンカーのスタッフはホアイさんを含めて4人。普段は法人で働く看護師、介護士です 4. お土産として喜ばれる味。黒糖ミルクタピオカ(400円)もちろん、すべて手づくりです



ホアイキッチン

第1日曜日開催
「えんざん朝市」に出店中。
今後は、他イベントにも
出店して活動の場を広げて
いく予定。

社会福祉法人光風会 HP



<http://www.koufukai-yamanashi.or.jp>

えんざん朝市

甲州市塩山上於曾 1104
毎月第1日曜日
9:00~12:00

**本場ベトナムの味を
ワーゲンバスにのせて**

2022年夏にオープンした「ホアイキッチン」は、レトロなワーゲンバスのキッチンカー。ベトナム出身であるホアイさんがつくる生春巻きが主役のお店です。生春巻きは、2つの味から選べてそれぞれ300円で楽しめます。私たちの知っているものとは見た目も少し違って可愛らしいのが特徴。「このお店は、甲州市にある社会福祉法人光風会で働く外国人看護師、介護士が運営しています。若いときから見知らぬ地で働く彼らは、地域との交流を多く持てずにごすことも少なくありません。キッチンカーを通じて地域と交流する場を設けることで、仕事以外の繋がりや発見ができると考えました。今はまだ月に一度のペースですが、今後は少しずつメニューを増やし、地域のイベントにも積極的に参加して行きたいと思えます」と統括施設長は話します。

「メニューは、ベトナムの味を日本人の好みにするだけではなく、看護師という立場から健康面も配慮して考案しています。今後は、ベトナム風サンドイッチのバインミーのメニュー化に挑戦したいです」とホアイさん。毎月第1日曜日に開催される「えんざん朝市」でその姿に出会うことができます。